

A woman's face is shown in the upper left corner, looking down at a glass of water. The water is clear with many bubbles rising to the surface. In the bottom right corner, there is a small green plant sprout with three leaves. The background is a light blue gradient.

環境報告書 2010

Creation&Harmony

SK-Electronics CO., LTD.





「自然との調和」

Harmony

コンテンツ

ごあいさつ	02
環境への取り組み	02
環境活動の歩み	03
環境管理組織	03
環境マネジメントへの具体的取り組み	04
社会貢献活動	06
環境保全活動	08
今後の取り組み	10
会社概要	10

編集方針

この「環境報告書」は、当社が地域社会の一員として環境保護の責任を担い、これまで取り組んでまいりました環境保全活動ならびに社会貢献活動の内容や成果をご紹介することで、当社の「環境」に対する考え方を皆様にご理解いただくことを目的に作成いたしました。

ごあいさつ

エスケーエレクトロニクスは「創造と調和」を経営理念としています。「創造」とは常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求めるより良い製品をご提供するという意味です。

「調和」とは、社会との調和、**自然との調和**、そして人との調和を大切にした企業活動により社会的責任を果たすという意味が込められています。

この経営理念に基づき、当社の環境理念である「常に自然の恵みを大切に、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。」を策定いたしました。

地球の限りある資源のもとに事業活動を行う当社は、環境負荷低減や環境保全のために、その事業の成果をもって貢献する責務があり、また環境問題への取り組みは企業価値向上につながる重要な企業活動の一つであると考えています。

今後は、社会の求めるより良い製品をご提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」の実現を目指してまいります。



代表取締役社長

野上良忠

環境への取り組み

当社では、環境経営を実践していくうえで重要なシステムとなる環境マネジメントシステム(ISO14001)を、2002年に京都工場で認証取得を行い、その後、本社の拡張認証を受けました。2011年には、滋賀工場も拡張認証を計画しています。

また、環境理念に基づく5つの環境方針を策定し、掲げた環境目標を達成する為に環境管理体制を整備して、社員一人ひとりの環境意識向上に取り組んでまいりました。

地域社会とのコミュニケーションも重要な取り組み課題の一つと考え、事業所周辺の身近な地域社会における環境保全活動ならびに社会貢献活動を地域の方々とともに進めております。

今後は、後ほどご紹介申し上げます社会貢献活動や環境保全活動の継続ならびに充実を図り、当社が果たすべき社会的責務に積極的に取り組んでまいります。

経営理念

「創造と調和」

環境理念

常に自然の恵みを大切に、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

環境方針

1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
2. 汚染を予防し、循環型社会の形成に貢献します。(3Rの実践)
3. 環境教育を実施します。
4. 社会貢献活動を実施します。
5. 環境関連の法律、規制および協定を遵守します。

※3R・・・Reduce(廃棄物の発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)



環境活動の歩み

2001年	10月	株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立	
2002年	9月	京都工場でISO14001認証取得	
2005年	5月	本社、京都工場での周辺地域清掃活動スタート	
	12月	本社でISO14001拡張認証取得	
2006年	8月	本社前の戻橋児童公園へベンチ5脚寄贈	京都市より感謝状授与(2006年9月)
2007年	9月	資材センターでISO14001拡張認証取得	
	11月	社会福祉法人への支援活動を開始(京都工場)	
2008年	6月	京都工場の所在地である久御山町内の幼稚園に「緑のカーテン」を設置	
	8月	京都市、NPO法人、企業のハイブリッド組織で「水源の森づくり」活動に参画	
	10月	「水源の森づくり」京北町の合併記念の森にて北山杉の第1回間伐作業に参加	P7
2009年	3月	「水源の森づくり」第2回間伐作業に参加	P7
	5月～10月	京都工場の近隣2カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を新たに設置	
	7月	京都工場近辺の木津川上津屋橋(通称:流れ橋)付近一帯の第1回清掃活動を行い、地域の美化に貢献	
	11月	本社周辺の堀川清掃活動を実施	P6
		発展途上国の子どもたちにワクチンを贈るため、ペットボトルキャップの収集を開始	P7
		滋賀工場の敷地の一角に農園を設け、野菜の栽培を開始	P9
2010年	2月	関西盲導犬協会への支援活動を開始	P7
	3月	「水源の森づくり」植樹作業に参加	P7
	5月～10月	京都工場の近隣3ヶ所の幼稚園に「緑のカーテン」を設置	P8
	7月	京都工場近辺の木津川上津屋橋(通称:流れ橋)付近一帯の第2回清掃活動を行い、地域の美化に貢献	P6

※2010年9月 資材センターを京都工場へ移転

環境管理組織

- 当社では、社長を最高責任者として環境保全活動に取り組んでおります。
- 社長の命をうけた環境管理担当役員のもと、環境委員会を設置しています。
- 環境委員会で企画、検討を行った取り組みについて、スムーズに実施するために環境委員会は各職場代表で構成しています。
- 社員は環境委員会のもと、環境保全活動に取り組みます。

環境管理組織図



環境マネジメントへの具体的取り組み

環境目標

環境3ヵ年計画の実績

第1期 (2002年9月期～2004年9月期)

第1期は、CO₂削減と廃棄物削減に取り組みました。CO₂削減(売上原単位※)は、2001年9月期の実績値から20%削減の目標としましたが、2004年9月期には、23%の削減をする事が出来ました。

廃棄物削減については、2001年9月期から40%削減の目標としましたが、3年間で51%の削減をする事が出来ました。

※売上原単位…エネルギーの使用量/売上高

第2期 (2005年9月期～2007年9月期)

第2期の計画は、引き続きCO₂および廃棄物削減に取り組むと共に、水、電力、燃料、排ガス消費の削減を目指しました。

CO₂削減の結果は、2004年9月期の実績に対して15%削減の計画でしたが、残念ながら2007年9月期には7%増になりました。

しかし廃棄物削減は、2004年9月期から30%削減の目標に対して2007年9月期には90%削減をする事ができ、大幅な削減となりました。

第3期 (2008年9月期～2010年9月期)

第3期は4つの目標を立てました。まず、グリーン購入率は目標の95%を目前にして達成することができませんでしたが、今後は維持管理を行い購入率の推移に変動が無いよう取り組んでいきます。事務用品購入量は、15%削減の目標に対して大きく上回る数字で目標を達成しました。コピー用紙購入量の削減は目標を達成できなかったため、次の3ヵ年計画では再度目標に掲げて削減を推進していきます。故紙・ダンボール排出量は、目標に対してわずかにオーバーしましたが、今後は維持管理を行い排出量が増加しないよう取り組んでいきます。

実績の詳細については、5頁に記載の通りです。

環境教育

当社は、社員への環境教育に積極的に取り組んでおり、社員一人ひとりの環境意識を高めることが大切だと考えています。「環境3ヵ年計画」をベースとした活動に加え、環境ビデオの上映、社外の環境セミナーなどを開催しています。

●ビデオを活用した環境教育

2010年4月、6月、7月に、環境教育の一環としてビデオによる環境教育を本社、京都工場、滋賀工場の3拠点で行いました。

今回は身近ですぐに実行できる環境問題をテーマとし、環境ビデオ「エコドライブ10のすすめ」を上映しました。参加者は本社27名、京都工場の第1回が45名、第2回が19名、第3回が25名、滋賀工場28名と、合計で144名の社員が参加しました。

今後も社員の環境意識向上を目指して、ビデオ上映会、講演会などを開催していきます。



京都工場食堂での上映風景



滋賀工場会議室での上映風景



本社食堂での上映風景

環境マネジメントへの具体的取り組み

■グリーン購入

当社では、物品等を購入する際に地球環境への負荷ができるだけ小さいものを選定し購入するという環境改善運動「グリーン購入」に取り組んでいます。本社においては2010年9月期までにその購入率を95%まで引き上げることを目標としました。

第3期「環境3か年計画」の最終年度である2010年9月期の本社グリーン購入率は、目標値95%に対して約94.8%となり、残念ながら目標に一步及びませんでした。

グリーン購入活動については、今後も継続し、目標意識を高く持って推進していきます。

■事務用品、コピー用紙の購入量削減

環境マネジメントの一環として、本社においては上記「グリーン購入」に加え、事務用品及びコピー用紙の購入量削減を「環境3か年計画」の目標として定め、取り組んでいます。前年度実績に対して5%の削減を目指し、事務用品は315件以内、コピー用紙は35万枚以内の購入を当期の目標としました。

結果として、事務用品は229件の購入となり、前年度実績より30.9%の削減となりました。一方、コピー用紙は37万7千枚の購入・使用となり、前年度実績に対して約2.9%増加し、残念ながら目標未達成となりました。社内業務におけるコピー用紙の使用状況等の継続的な見直しを行うとともに、業務等のペーパーレス化を一層推進していきます。

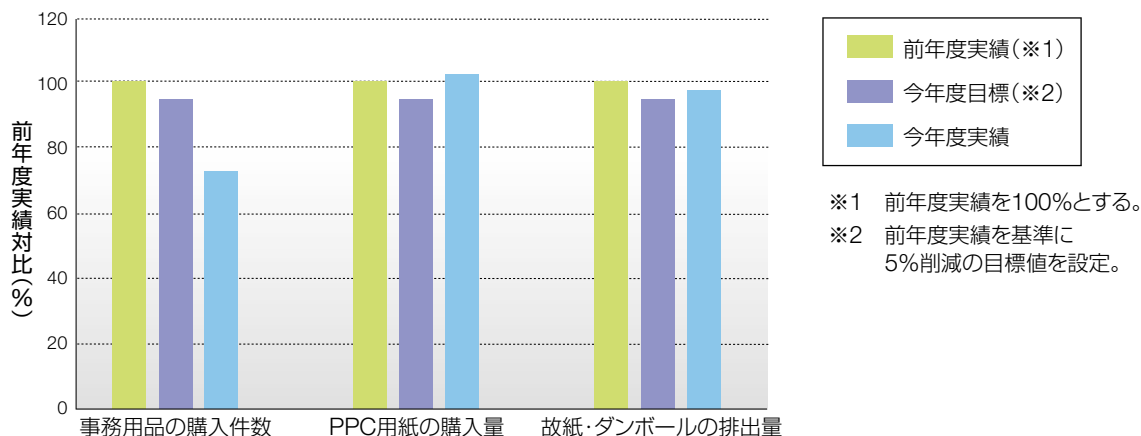
■故紙・ダンボールの排出量削減

当社では故紙・ダンボールの排出量削減に取り組んでいます。「環境3か年計画」に定める目標として、前年度実績に対して5%の削減を目指しています。

当期は排出量を2,480kg以内をすることを目標としました。結果として、排出量は2,539kgで前年度実績より約2.7%の削減にとどまり、残念ながら目標に達することができませんでした。

2011年9月期においても、当期に引き続きさらなる排出量削減に取り組んでいきます。

〈削減率の推移〉



社会貢献活動

■ 地域貢献ふれあい活動

● 第1回 堀川の清掃活動

2009年11月に社員有志で本社ビル近くの堀川周辺の清掃を行いました。本社ビルの前を流れる堀川は地域の方々の「憩いの場」となっており、また歴史的に有名な「一条戻り橋」が本社のすぐ近くに架かっています。

当日は当社各拠点から多くの有志が参加し、社員の社会貢献への意識が少しずつ根付いてきていることが伺えました。また、堀川周辺は人通りも多く、道行く方々と交流しながら清掃活動を行うことができ、有意義な一日となりました。今後も地域の方々と交流を深められる活動を目指していきたいと思えます。



参加者22名



落ち葉の中も清掃



堀川通りの側道



水際もきれいに清掃

● 第2回 上津屋橋(通称:流れ橋)の清掃活動

2010年7月、社員有志で京都工場近くの「流れ橋」を清掃しました。「流れ橋」は、京都工場のある久御山町と八幡市を結ぶ木津川に架けられた風情のある木造橋で、時代劇のロケ地にも利用される景勝地です。当日は梅雨の時期にもかかわらず好天に恵まれ、気持ちよく清掃活動を行うことができました。木津川堤防から流れ橋周辺を15人の社員有志とその家族で掃除を行いました。

数日前まで川の氾濫によって崩壊し通行できなくなっていた流れ橋も、当日には復旧し元のきれいな橋に戻っていました。今回は京都工場と本社の社員が合同で参加し、コミュニケーションを深めることもできました。季節柄、川の周辺には花火のゴミが多く散乱しており、回収したゴミは約3.5kgにもなりました。

今後も、このような地域社会への貢献活動を継続していきたいと考えています。



久御山町 流れ橋付近清掃活動風景



社会貢献活動

■エコキャップ運動

地域・社会貢献活動の一環として2009年12月より「エコキャップ運動」を開始しました。この運動はペットボトルのキャップを集めてリサイクル業者に売却し、その収益で発展途上国の子どもたちにBCGやポリオワクチンを贈るもので、再資源化やCO₂削減、社会貢献を目的としています。

本社・京都工場・滋賀工場の3拠点に回収ボックスを設置し、2010年9月までの約10ヵ月間で8050個のキャップを集めました。これにより10人分のワクチン購入が可能となり、64kgのCO₂が削減できました。今後も社会貢献の一環として継続して取り組んでいきます。

回収箱の設置状況



本社



京都工場



滋賀工場

■盲導犬育成支援

当社製品のフォトマスクは、液晶パネルの製造に使用され、液晶TVやパソコンなどを通じて世界中の人々の生活を豊かにしています。しかし、それらのメリットを享受できない視覚障害者の皆様に対しても何か力になりたいとの思いから、盲導犬育成支援への取り組みを始めました。地域性と活動実績を考慮して、支援先は関西盲導犬協会(京都府亀岡市)としました。

まず、最初に取り組んだのは古タオルの回収・寄付です。盲導犬育成現場では訓練犬と育成環境を清潔に保つために大量のタオルを必要とします。そこで、家庭で不要になった古タオルの提供を社内に呼びかけ、集まったタオル約55kgを関西盲導犬協会に寄付しました。古タオルの回収・寄付には、環境方針に掲げている3Rのリユース(Reuse:再利用)の実践として循環型社会の推進に貢献する意味もあります。

次に取り組んだのが、盲導犬育成募金自販機の設置です。この自販機は、清涼飲料の売上げの一部が関西盲導犬協会に寄付されるため、社員の誰もが日常的に参加できる仕組みになっています。

私たちは、これからも社員参加型の社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。



古タオル募集箱



盲導犬育成募金自販機

■水源の森づくり

このプロジェクトは、京都環境コミュニティ活動プロジェクトのチームの一つとして活動している地球温暖化防止モデル事業です。地球温暖化は森林の荒廃にも大きく関係していることから、理想の森づくりを目指します。

2008年10月から間伐をスタートし、2010年3月には念願の植樹を行いました。この経験を活かして、今後はより多くの社員が参加できるような活動を検討していきます。

活動実績 (場所:京都市右京区京北周山町周辺)

2008年10月

第1回 間伐作業(参加者19名 当社より4名参加)

2009年3月

第2回 間伐作業(参加者18名 当社より2名参加)

2010年3月

植樹作業(参加者16名 当社より2名参加)



鹿柵の設置



参加者16名



コナラ20本を植樹



森林組合の方の指導風景

環境保全活動

■ 緑のカーテン

地域貢献活動、環境保全活動の一環として2008年5月より久御山町内幼稚園へ「緑のカーテン」の設置を行っています。今年も久御山町立御牧小学校付属幼稚園、久御山町立佐山小学校付属幼稚園、久御山町立東角小学校付属幼稚園の3園へ設置を行いました。

「緑のカーテン」設置は、体感温度の上昇を抑えることと植物の花や実が成ることで植物の生長を園児達に体感してもらい、身近な緑に関心をもってもらうことを目的としています。設置した植物は、ゴーヤ、ヘチマ、千成瓢箪です。



ゴーヤ



ヘチマ



千成瓢箪

5月下旬にそれぞれの幼稚園へ訪問し、「緑のカーテン」設置と苗の植え付けを行いました。苗の植え付けと水やりは園児たちにも手伝ってもらったなど、地元子ども達と交流を図りながら作業しました。

2008年、2009年は生育状況が悪く「緑のカーテン」としての効果が少なかったため、今年こそは成功させ園児たちにその涼しさを実感してもらいたいと考えました。そのため今年にはプランターの数を昨年の2倍にし、土を改良し、さらに肥料の追加および生育状況の確認を頻繁に行いました。

その結果、3園とも昨年よりも厚い層に成長し、うち1園では外側と内側で5℃以上の温度差がある立派な「緑のカーテン」ができました。

また、どの園の植物もたくさんの実をつけ、園児や保護者の方々に喜ばれました。ゴーヤは給食に利用したり、それぞれの家庭で味わっていただくことにより、この活動を通して食育も実践できたのではないかと思います。今後は今までの反省点を活かし、より効果のある「緑のカーテン」設置を継続し、地域貢献と環境保全に務めていきたいと考えています。



苗の植え付けの様子



緑のカーテン

環境保全活動

■ 滋賀工場農園

滋賀工場では2009年から工場敷地内に農園を設け、野菜作りを行っています。野菜の生育を通して自然環境に親しみ、環境意識を高めることを目的としています。

2010年は多くの社員の協力のもと、農園の規模を少し広げ、11種類の野菜を収穫することができました。今後もさまざまな野菜を育てる中で自然環境への意識を高め、参加者同士の交流を深めていきたいと考えています。



さつまいも



レタス・キャベツ



ししとう・トマト・ナス・キュウリ

■ 太陽光発電システムの活用(発電量公開)

京都工場では、“クリーンエネルギー”である太陽光を利用して太陽光発電システムを導入し、環境保全に貢献しています。

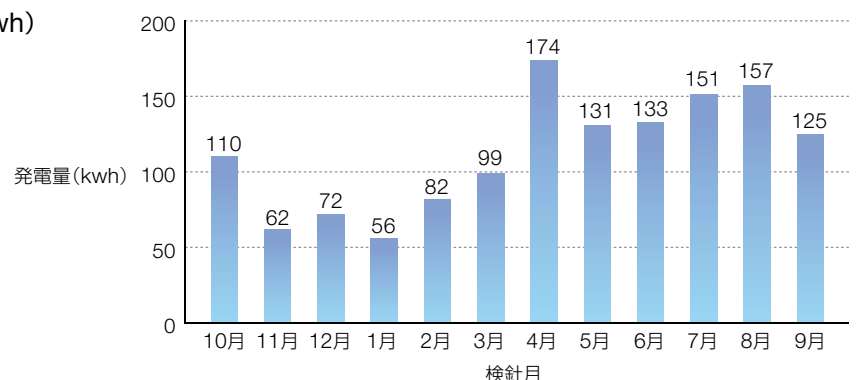
今期の発電量は、以下の通りです。

今期の積算〈2009.10月～2010.9月〉

検針月	月次積算量(kwh)	年次積算量(kwh)	総積算量(kwh)	金額換算(円)
10月	110	110	6,581	1,320
11月	62	172	6,644	744
12月	72	244	6,716	864
1月	56	300	6,773	672
2月	82	382	6,855	984
3月	99	481	6,954	1,188
4月	174	655	7,129	2,088
5月	131	786	7,260	1,572
6月	133	919	7,393	1,596
7月	151	1,070	7,545	1,812
8月	157	1,227	7,703	1,884
9月	125	1,352	7,828	1,500
合計	1,352	1,352	7,828	16,224

太陽光発電積算量(kwh)

■ 月次積算量(kwh)



今後の取り組み

当社は、社会が求めるより良い製品を提供するとともに、環境負荷低減や環境保全に貢献し、環境理念である「自然との調和」を実現するために、以下の取り組みを実践していきます。

①環境マネジメントの実践

具体的な取り組みとして、これまで実践してきた「環境教育」を今後も積極的かつ継続的に行い、社員のさらなる環境意識の向上を図ります。

2010年10月からは「新・環境3ヵ年計画」をスタートさせ、新たな目標として不適合品や残業時間を減らすことによる電力量削減、電子化によるコピー用紙の削減、改正省エネ法に基づく全社での電力量削減などを設定します。それぞれの数値目標を決めて目的や効果を十分に理解しながら達成に向けて取り組んでいきます。

②社会貢献活動の実践

「地域周辺の清掃活動」は6年目に入り、「緑のカーテン」は3年目を迎えました。また、2010年から始めた活動として本社近辺での「堀川清掃活動」、「エコキャップ運動」、そして「関西盲導犬協会への支援活動」も継続していきます。

地域社会の皆様とコミュニケーションを図りながら、新たな社会貢献活動への参加を含め積極的に取り組んでまいります。

③環境保全活動の実践

「水源の森づくり」では、社員の環境教育として北山杉の人工林現状を見て、今まさに必要な間伐作業を行っています。また次の段階として、行政、NPO、企業が一体となった放置竹林の間伐作業にも参画する予定をしています。今後も地球温暖化防止に繋がる取り組みに積極的に参加し、環境理念の実現に取り組んでまいります。

会社概要

社名	株式会社 エスケーエレクトロニクス	SK-Electronics CO., LTD.
設立	2001年10月1日	
本社住所	〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル堅富田町436番地の2	
事業内容	大型フォトマスクの製造、販売	
資本金	4,109,722 千円	
従業員数	254名(2010年9月30日現在)	



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**
www.sk-el.co.jp



本社 / 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル堅富田町436番地の2
東京営業所 / 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目19番15号 アド・タイヘイビル6階
京都工場 / 〒613-0035 京都府久世郡久御山町下津屋富ノ城62番地1
滋賀工場 / 〒528-0068 滋賀県甲賀市水口町ひのきが丘38番

TEL.(075)441-2333(代) FAX.(075)441-4291
TEL.(03)5425-6061(代) FAX.(03)5425-6062
TEL.(0774)44-2921(代) FAX.(0774)48-2163
TEL.(0748)65-1390(代) FAX.(0748)65-1391